# 発酵のチカラでコロナ禍に勝つ

信州こども食堂ネットワーク

5月26日（水）、上田市のまるこ福祉会に「カルピスウオーター」33,864本（24本入りのケースが1,411箱。重量にすると14トン超）が届きました。全国食支援活動協力会を通じて、アサヒ飲料様からいただきました。

NPOホットライン信州の上田地区拠点になった、まるこ福祉会の駐車場に積まれた大量のケース

大型トラックで運ばれてきたカルピスをスタッフが倉庫へ運び込みました。松本拠点では受け取りに来た各こども食堂の車へ積み込みました。

6月12日の「さなだ支え合い会議」フードバンク＆フードパントリーや、駒ヶ根市の親と子学び育ちの会「まねきネコ」のこども食堂などで活用します。

5月29日（土）、長野市の信州こども食堂＆学生応援フードパントリーで500本のカルピスを配りました。また、翌30日の信州大学松本での信州こども食堂＆学生応援フードパントリーでも配りました。（左の写真は長野市での様子）

〈編集〉信州こども食堂ネットワーク事務局　本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています
無料相談・問い合わせ　フリーダイヤル 0120-914-994　特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ http://hotline-shinshu.jimdo.com/　各地での報告や開催日程などをご覧いただけます
舞い上がれ 社会を変える みんなの力　休眠預金を活用した事業です





# 子どもと家族を支えよう！
## 新型コロナウイルスに負けないぞ！～信州子ども食堂

## アサヒ飲料様から カルピスウォーターをいただきました
### 乳酸菌と酵母による、発酵がもつチカラで「コロナ禍」に勝つ！こども食堂

3月19日（金）にも、全国食支援活動協力会を通じて、アサヒ飲料様から、GREEN CALPIS「豆乳生まれのカルピス」を180ケース・4,320本（370ml、1ケースあたり24本入、総重量約1.6t）を松本市のNPO法人ホットライン信州本部事務所に届けていただきました。

いただいたカルピスは、昨今のコロナ禍で苦慮している子どもと家族のために、県内それぞれの信州こども食堂ネットワークと「各地域こども食堂」や必要としているご家庭に順次配らせていただいております。

お問い合わせは、NPOホットライン信州☎0120-914-994まで。

2021年（令和3年）6月1日（火曜日）　信州民報

上田市

## まるこ福祉会が新たに連携事業スタート
### 「ホットライン信州」の活動をサポート
ペットボトル約1500箱が運び込まれる

上田市長瀬の（福）まるこ福祉会（柳澤正敏理事長）は、「信州こども食堂ネットワーク」事務局を担当する、NPO法人ホットライン信州（松本市）の活動をサポートするため、施設の一部を同法人の東信地域活動拠点として整備し、新たな連携事業をスタートする。

26日は、東信地域の「子ども食堂」などを運営する団体へ配分する目的で、清涼飲料（カルピスウォーター430mlペットボトル）24本入り約1500箱が同福祉会へ運び込まれた。これはアサヒ飲料様が、子どもと家族の居場所運営支援のために寄付したもの。

県の窓口でホットライン信州が受け取り、東信地域分1回目の搬入をした。朝9時前から10トントラック2台で運び、同福祉会職員が受け入れた。一旦倉庫に保管して今後、東信地域の必要とする団体などへ配分するという。

柳澤理事長によると「大型冷凍庫・冷蔵庫も保有しているので、常温以外の食材の受け入れも可能。今後、ホットライン信州の活動に応じて対応していく」という。

応援に来ていた「信州子ども食堂IN小諸」「こども食堂みよた」を運営する、小林重太郎さんは「東信にこのような拠点ができたことは有り難いこと」と話す。またホットライン信州職員は「これまで松本・長野で物資を配分していたが、上田に拠点ができたことで受け取りやすくなる」と話した。

同福祉会は、平成30年8月から毎月第1土曜に「こどもレストランきらっと」を開催し、食事提供のほか学習支援・多世代交流などを行う。また今年4月には、生活に困難を抱える人に食料を提供する「0（ゼロ）円弁当」「0円スーパー」に取り組んだ。

ホットライン信州は、生活困窮者や困りごとを抱える人など支援を必要とする人に寄り添い、伴走する活動（相談事業・フードバンク・子ども食堂・人材育成など）を行う。信州こども食堂ネットワーク事務局としては「子ども食堂」運営団体を繋ぎ、情報発信や支援活動をする。

まるこ福祉会は同ネットワークに今年1月、加盟したことをきっかけに多彩な活動実績や施設設備などの特色を生かし、ホットライン信州の東信拠点を発足した。なお両者は5月から連携し、相談事業も開始。1室を相談室とし、福祉実務経験者が相談にあたり、守秘義務遵守のもと関係機関と連携した支援を行うという。

大量の支援物資（清涼飲料）を受け入れた、まるこ福祉会職員（写真中央は柳澤理事長）

10トントラック2台で、約1500箱の飲料が搬入された